

製品名: Flk-1/Flt-4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11024**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:20000-1:40000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	KDR/FLT4
別名	KDR; FLK1; VEGFR2; Vascular endothelial growth factor receptor 2; VEGFR-2; Fetal liver kinase 1; FLK-1; Kinase insert domain receptor; KDR; Protein-tyrosine kinase receptor flk-1; CD antigen CD309; FLT4; VEGFR3; Vascular endothelial growth
遺伝子 ID	3791/2324
SwissProt ID	P35968/P35916
免疫原	抗血清はヒト VEGFR2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1020-1069

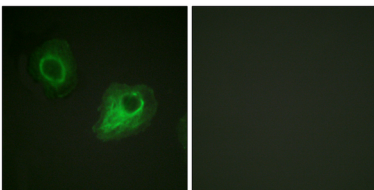
背景

血管内皮増殖因子 (VEGF) は、内皮細胞の主要な増殖因子です。この遺伝子は、VEGF の2つの受容体のうちの1つをコードしています。キナーゼ挿入ドメイン受容体として知られるこの受容体は、III 型受容体チロシンキナーゼです。VEGF 誘導性血管内皮細胞の増殖、生存、遊走、尿細管形態形成、および出芽の主要なメディエーターとして機能します。この受容体のシグナル伝達と輸送は、Rab GTPase、P2Y プリンヌクレオチド受容体、インテグリン $\alpha V\beta 3$ 、T 細胞タンパク質チロシンホスファターゼなど、複数の因子によって制御されています。この遺伝子の変異は、乳児毛細血管腫に関与していることが示唆されています。 [RefSeq 提供、2009 年 5 月], 触媒活性: $ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシンリン酸$ 。機能: VEGF または VEGFC の受容体。チロシンタンパク質キナーゼ活性を有する。VEGF キナーゼリガンド/受容体シグナル伝達系は、血管の発達と血管透過性の調節に重要な役割を果たしている。HIV-1 感染の場合、細胞外ウイルス Tat タンパク質との相互作用がカポジ肉腫病変における血管新生を促進するようである。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。Tyr タンパク質キナーゼファミリー。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。Tyr タンパク質キナーゼファミリー。CSF-1/PDGF 受容体サブファミリー。類似性:1 つのタンパク質キナーゼドメインを含む。類似性:7 つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含む。サブユニット:MYOF と相互作用する (類似性による)。VEGF 活性化時に SHB と相互作用する。HIV-1 Tat と相互作用する。、

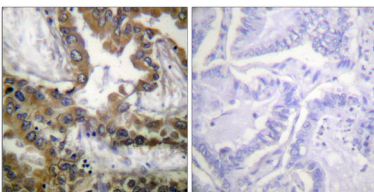
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;エンドサイトーシス;VEGF;焦点接着;

画像データ



VEGFR2 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



VEGFR2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像。